

「ハッピーエンドがいいよね・・・」



おはよう。ゼオラ君。  
そろそろ先程投与した薬が  
効いてくる頃合いかな？  
それでは捕虜は捕虜らしく  
頑張っておおう。

あ…

は、

嫌ア…

どき

は

は

どき

どき

ククク…  
まあ、従わなければ  
君と一緒に捕まった  
君の大事なパートナーが  
大変な事になるだけだがね。



待って下さい…  
や…やります!!

やめろ…やめろよ  
ゼオラ…

元々俺がビルガーで  
突っ込み過ぎて  
ドジっちまったんだ

ん…

は、

たす  
たす

しゅ  
しゅ

は、

は、

ご機嫌いかがかな？  
アラドIIバランガ君。

おっと無理はしない方がよい。  
君の声帯は先程飲んで貰った  
薬で機能しなくなっている筈だ。

同様にゼオラ君も薬で  
一時的に視覚を奪ってある。  
：フフフ。  
つまり彼女は相手をしているのが  
君だとは気付いていない訳だ。

加えて彼女には  
身体を正直にする薬も  
服用して貰っている。  
ククク・・・  
まあ、君は素直に楽しみ給え

まあ、薬など使わなくとも  
君の事を盾にしたら  
ゼオラ君はあっさり言う事を  
聞いてくれたよ。

君達の手にかかって  
散っていった我が軍の  
兵達の慰みの為に  
良い声で鳴いてくれ給え。

もっとも君の場合は  
鳴こうとしても  
鳴けないか。ハハハ。

畜生！！

ゼオラ…  
ゼオラ！！

ば

あ

ケウケウ



『ゼ：ゼオラは処女なのに  
オマンコをこんな…に  
濡らしている…はしたない  
女の子です…♡』

『どうか心行くまで  
ゼオラの処女マンコを  
お楽しみください…♡』

し  
ぱ  
あ

ハハハハハ!  
戦意高揚の見世物として  
最高の出来だよ。

君も彼女の命が  
惜しかったら  
はげみ給え。

バ  
キ

アラド…

アラド…  
ごめんね…。

私…これから  
見ず知らすの男に  
犯されちゃう…。

汚れちゃった私の事  
アラドは嫌いにな  
っちゃうかな…。

無事でいて！

それは仕方が無いか…。  
でもね…アラドお願い…

うああ!!

がくがく

ひ……っ

ひいっ  
い……痛い!!  
痛いよお……!!

ぷるる

がくがく

ひぎぎ!!

がくがく

ギチ  
ギチ……

ホラホラ。ゼオラ君。  
痛みなんて  
薬ですぐ無くなるんだから。  
もっとご主人様を  
悦ばせてくれ給え。

ああ……もう私……

処女じゃ……ないんだ……

ひ……

うあ

は……は……



『ご……ご主人様……  
どうぞこのまま  
私の……膣に……』

『ご主人様の  
熱いザーメンを……  
おかけください……。』





胸が... 水... びしょ濡れ...

心が...

びしょ濡れ

お尻... びしょ濡れ...

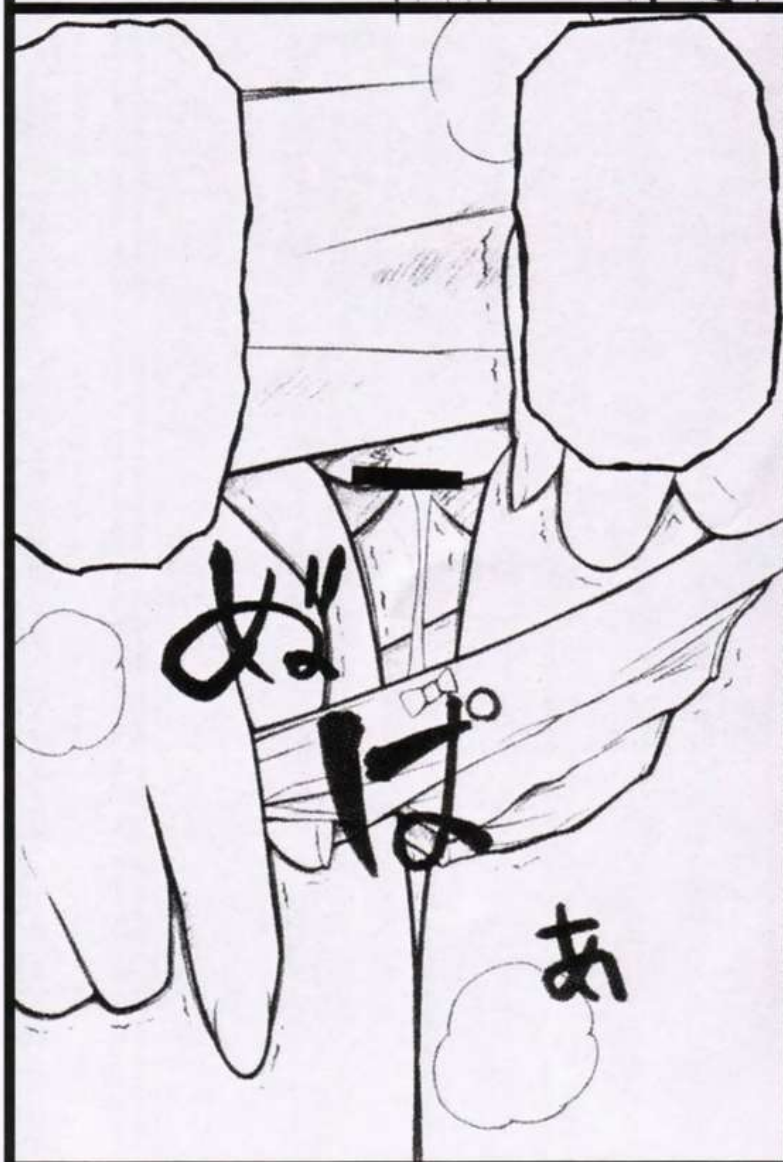
お尻

びしょ濡れ



畜生!!

Go To Next Stage



# 奥付

日向恭介

「studio★himawari」

印刷 ポプルス

18歳未満閲覧禁止  
無断転用厳禁